

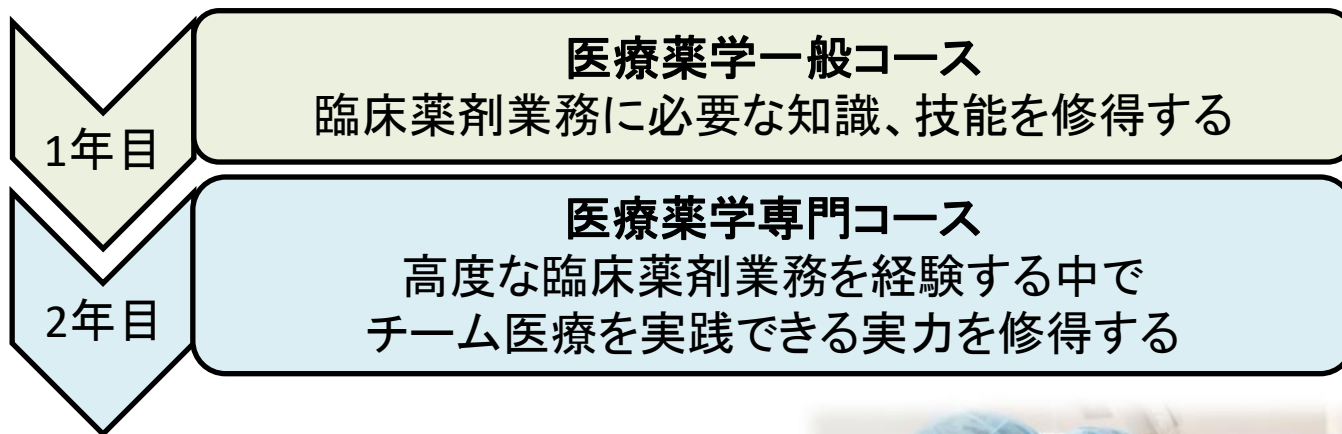


**神戸市立医療センター
中央市民病院**

**薬剤師レジデント
since 2009**

当院の薬剤師レジデントプログラム

実務経験に根ざした講義と臨床実務実習を通して、高度医療に対応した臨床薬剤業務並びにチーム医療を実践できる薬剤師を養成する。



- レジデントセミナー
- 臨床研究
- 薬学部実務実習生の指導
- 関連病院での研修



カリキュラム

医療薬学一般コース (1年次)

- ・調剤
- ・抗がん剤調製

病棟研修
(一般病棟)

セミナー(モーニングセミナー)

医療薬学専門コース (2年次)

- ・専門業務研修
(一般病棟や集中治療室、化学療法室等から選択)
- ・関連病院研修
- ・セミナー(サンセットセミナー、Journal Club)

臨床研究(レジデントフォーラム・学会発表・論文執筆)

実務実習生の指導

基本業務の
研修

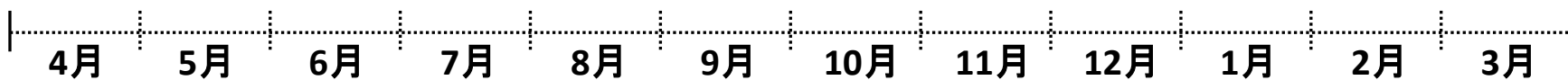
Generalist
としての
知識の習得

臨床業務の
研修

Specialist
としての
知識の応用

Pharmacist
Scientist
に向けた研修

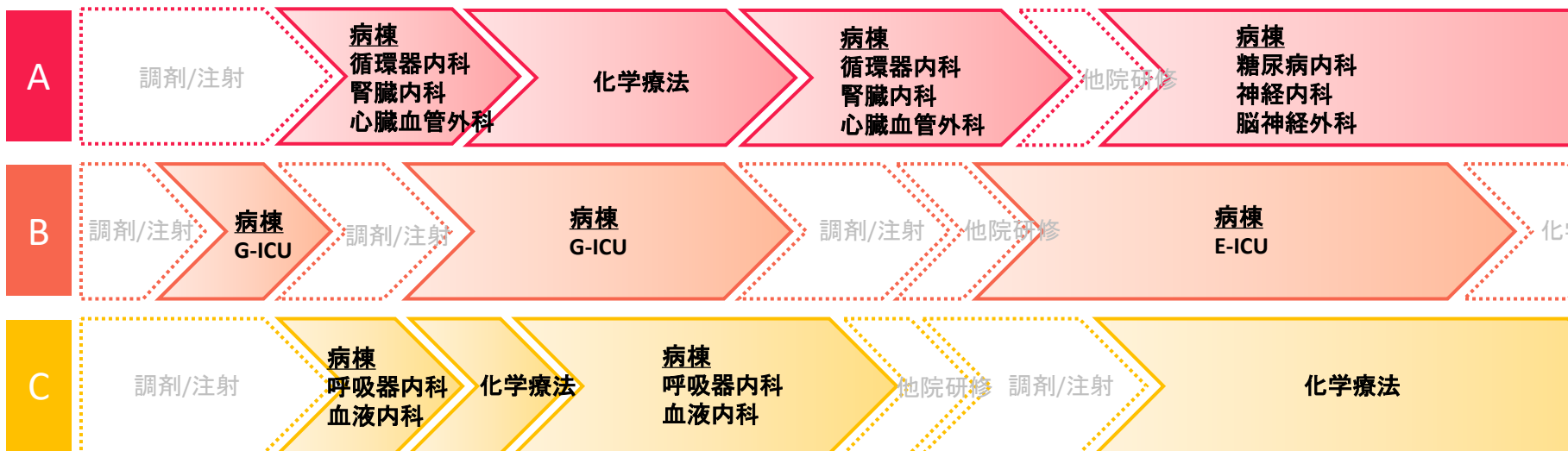
カリキュラム例



<1年次> 基本的業務を研修



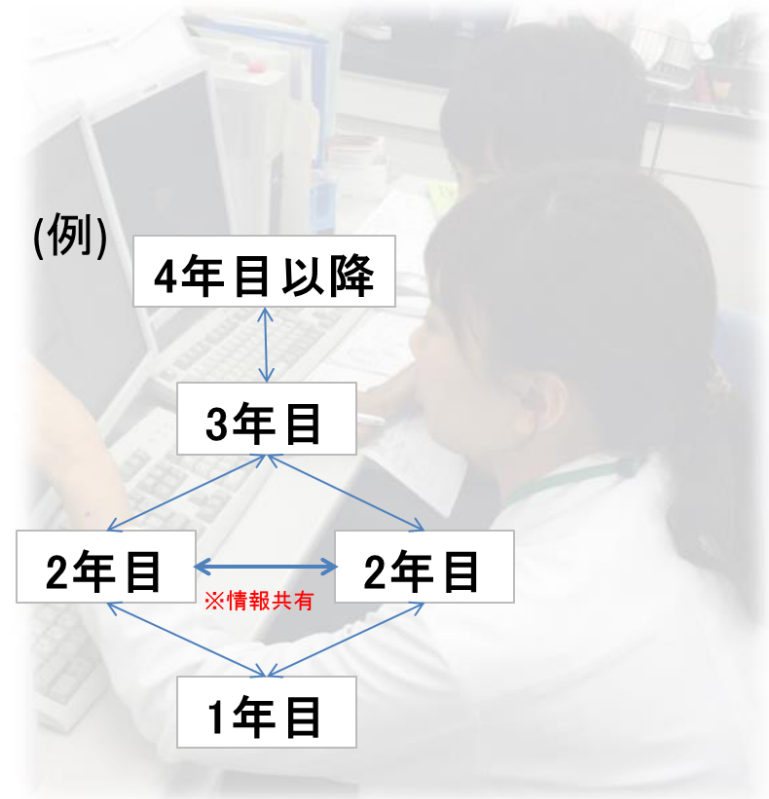
<2年次> 個々に応じて選択した数ヶ月単位の専門業務を研修



メンター・メンティー制度

▶ 先輩薬剤師がセミナーや業務などの相談窓口となります

- 屋根瓦式のメンター制度を導入しており、様々な場面でサポートできる先輩が割り当てられます
- レジデント2年次には上位のメンターのサポートのもと、自身もメンターとしての役割を担います
- 各世代のレジデント・職員が共に成長できることを目指した形態をとっています



セミナー

モーニングセミナー

▶ 若手薬剤師が身に着けるべき基礎知識や情報ツールの活用方法を養う

発表者：1年次入局者

日時：毎週火曜日 業務開始前

内容：添付文書・インタビューフォーム・

レジデントマニュアル・レジデントの鉄則の範囲内

サンセットセミナー

▶ 症例を共有し臨床業務に必要な知識・考え方・視点を養う

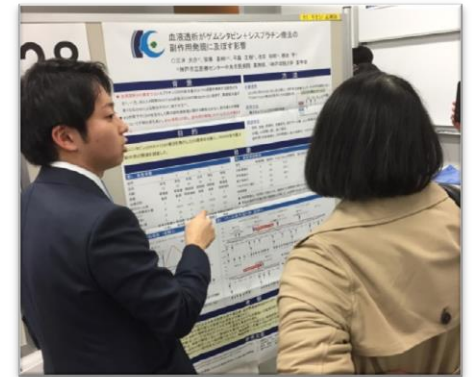
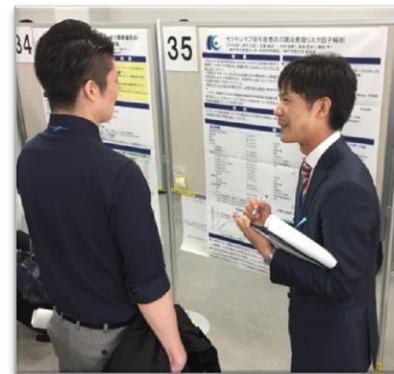
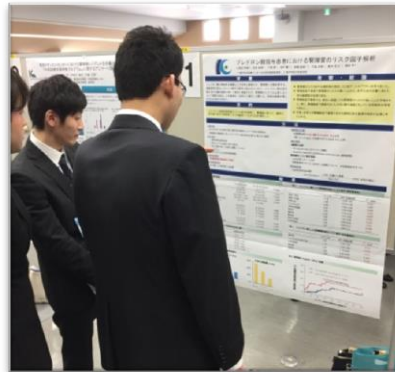
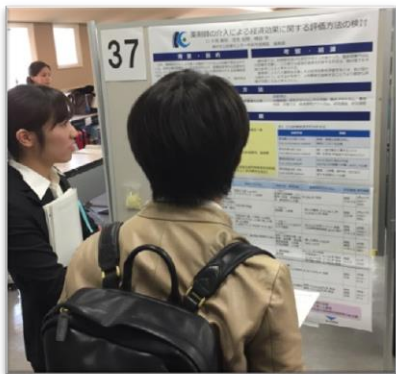
発表者：2年次入局者

日時：第2・4水曜日 業務終了後

内容：各部署で扱う薬剤や病態に関連した周辺知識など

レジデントフォーラム

▶ 各施設のレジデントが自ら行う臨床研究について
発表します



臨床研究を行う際は、

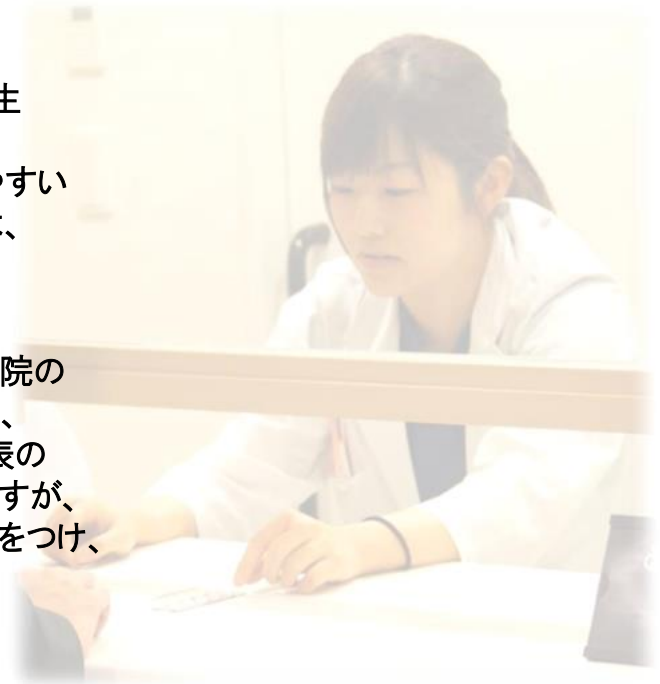
経験豊富な指導者や先輩薬剤師が指導にあたります

レジデントの声

平成29年度 レジデント1年次修了生

1年目は調剤、注射、抗がん薬調製、病棟をローテーションするとともに実務実習生の教育に関わり、薬剤師に必要とされる全般的な知識・技能の習得に努めました。他の業務も経験できる一方で、しっかりと調剤や注射に入れるため、基礎が固めやすいのはレジデントの利点の一つだと思います。2年目の病棟中心のローテーションでは、専門性の高い知識を習得し、治療に貢献できるよう努力していきます。(藤田)

3年間調剤薬局で勤めた後、病気や治療についてもっと学びたいという思いから当院のレジデントとなりました。レジデント1年目の現在は、調剤・注射業務、抗がん薬調製、TDM・DI研修、病棟業務などを行うとともに、レジデントフォーラムに向けた研究発表の準備を進めています。日々の業務に加え勉強会やセミナー発表など忙しくもありますが、勉強の機会には非常に恵まれた環境だと感じています。1年目でしっかりと基礎力をつけ、より専門的な内容となる2年目につなげていきたいと考えています。(玉置)



平成29年度 レジデント2年次修了生

2年間のレジデント研修内容はとても充実しておりジェネラリストとしての基盤を構築するために必要な幅広い知識を身につけることができた。国家試験に合格し薬剤師になるというゴールにたどり着いた今、この2年間のレジデント研修を終えることで、多くの臨床を経験し、自分が理想とする薬剤師像をイメージできるようになった。(溝口)



レジデントの声

平成29年度 レジデント2年次修了生

レジデントという道を選択することで、興味のある分野で集中的なトレーニングを積むことが可能です。更に、臨床研究を行うことで、医療チームにおける薬剤師の役割を考えられ、エビデンスを発信する重要性も学ぶことができます。

将来、日本の医療を担う薬剤師となるための第一歩がここにあるかもしれません。
(冨田)

2年間のカリキュラムの中で、最も良い点はやはり自分で病棟を選択し研修できる点だと思います。私はあえて苦手意識のあった循環器疾患、脳疾患のある病棟を選択しました。患者さんの中には様々な既往を持っている方もおられるため、まだまだ勉強中ではありますがこの経験は違う病棟でも役立つと思っています。

(片岡)

私はレジデント研修制度を通して基本となる調剤業務をはじめ、DI業務・抗がん薬調製業務など幅広い分野を学ばせて頂きました。また、病棟業務では自身で希望した診療科を含む病棟で研修することができたため、その分野における専門的な知識を身に付けることができました。とても充実した2年間でした。

(中田)

私は2年目レジデントとして外来化学療法センターでの研修を受けました。レジメン監査やミキシング、患者への副作用説明、ラウンドなどのルーチン業務の他、週に1回薬剤部内で行うセミナーの準備や年に1回開催されるレジデントフォーラムで発表する研究などを行っています。多忙な毎日ですが、その分学べることは多く、日々の経験を通して薬剤師としてのスキルを磨いています。

(濱田)



レジデント修了後の進路

▶ 修了後は当院だけでなく、様々な医療現場で活躍
しています

神戸市民病院機構 薬剤師
(当院含む)

甲南病院

赤穂市民病院

淀川キリスト教病院

市立岸和田市民病院

大阪大学医学部附属病院

神戸リハビリテーション病院

神戸大学医学部附属病院

国立循環器病研究センター

阪神調剤薬局

神戸低侵襲がん医療センター

神戸学院大学(教員)

神戸赤十字病院

PMDA(出向)

神戸掖済会病院

など



2018/1/12 新年会にて